

京都府立医科大学小児科では、新規疫学研究

「血清 microRNA を用いた横紋筋肉腫の新規診断法の開発」(京都府立医科大学倫理審査委員会承認、研究期間(承認日から平成 25 年 3 月 31 日まで)、研究責任者 細井 創)

を開始致しました。

疫学研究とは、人の病気の原因・病態の解明、および診断・予防・治療の方法の確立を目的とする研究です。これまでに当科で小児がんの治療を受けられた患者さんの中で、検査、手術時に、採取された余剰検体の使用に同意いただいた患者さんの腫瘍組織、血清および、診療情報を用いて、腫瘍や血清中の microRNA の発現を調べ、小児がんのなかから、とくに横紋筋肉腫という小児がんをより簡便に、また早期に診断する方法を開発する研究をしたいと考えています。このことにより、横紋筋肉腫の患者さんは、より早期に、より適切な治療が受けられるようになると考えられます。

当院にすでに保管されている検体や診療情報をもとに行われるため、対象となる患者さんにあらたにご負担をおかけすることはありません。また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、お名前、生年月日、住所などの個人情報にかかわるデータは一切使用いたしません。

上記の疫学研究に腫瘍組織、血清、および診療情報を使用されることに同意されない患者さんやご両親は、下記にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上で患者さんが不利益を被ることは一切ありません。当院にすでに保管されている患者さんの検体や診療情報を次の患者さんのために活用させていただければと考えていますが、もし、上記研究に関しましてご不明の点がございましたら、下記にお問い合わせください。

京都府立医科大学 小児科

Email : ped@koto.kpu-m.ac.jp

担当者名 宮地 充、土屋 邦彦